

認知症を学び、誰もが安心して暮らせる地域をめざして

認知症サポーター養成講座

認知症は年を重ねることによって誰にもなる可能性があります。認知症は私たちの人生の一部です。

認知症になっても周囲の人の支えや安心できる居場所があれば、地域で自分らしく生活することができます。誰もが地域の一員として、住み慣れた地域で希望をもって暮らしていけるように、認知症に関する正しい知識と理解、思いやりのある対応方法を一緒に学びましょう。

あなたも認知症サポーターになりませんか？



「認知症になったらどんなことに困るの?」「何か手助けができるかも…」

認知症サポーター養成講座では、認知症に関する正しい知識や接し方についてお話しします。

認知症サポーターは何か特別なことをする人ではなく、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守る地域の「応援者」です。

認知症の方や家族の気持ちを理解するように努めたり、認知症に関する知識を友人や家族に伝えることも認知症サポーターの活動です。

さりげない気配りや行動が、安心して暮らせる地域をつくれます

知る



見守る



手伝う



受講された方には、認知症サポーターの目印である「認知症サポーターカード」をお渡しします。



お問い合わせ・お申込みは、担当地区の地域包括支援センター、または
富山市 長寿福祉課 (Tel: 443-2044) へご連絡をお願いします。